

南京农业大学
2008 年攻读硕士学位研究生入学考试试题

试题编号: 835 试题名称: 日语读解与写作

注意: 答题一律答在答题纸上, 答在草稿纸或试卷上一律无效

第一部分 読解 (105 点)

次に挙げる三篇の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

文章 (1)

人間は「考える」ことなしには生きてゆくことができません。①朝起きてから夜寝るまで、われわれは絶えず「考えて」います。たとえば外出前に空を見上げて、(②)、傘を持ってゆくべきかどうか考えます。必要ならば、新聞の天気予報欄を見て、傘はいるとかいらないとかの判断を下すでしょう。あるいはまた友だちにマージャンに誘われるような場合にも、どうしようかと考えることもあるでしょう。そして今日はすこし疲れているからやめようとか、今夜は暇だからやってみようとかの判断を下すでしょう。

このようにごく些細なことに対しても、われわれは常に「考え」ます。「考える」ことなしには、われわれは自分の行動を決定することができないといえるでしょう。もとより深く考えることなく、いわば反射的に行為をすることもあります。またとっさの場合にとる行動は、(③)。しかしわれわれがあらためて何らかの事態に対処しなければならないとき、それがどんなに小さなことであっても、とにかくわれわれはみずから考え、みずからの判断によって自分の行動を決定しなければならないのです。

このように人間は常に考えて④生活している以上、「正しく考える」ということが必要であることはいうまでもありません。正しく考えて正しい判断を下すことができれば、われわれはいろいろの事態に遭遇した場合に、適切な行動をとることができます。これに反して、もし誤った考え方をして、そこから判断を下せば、当然誤った行動をとることになるわけです。

むろん前に述べた例などの場合には、たとえ誤った判断を下したとしても、⑤たいしたことではないといえるでしょう。傘を持たずにでかけて雨が降ったとしても、⑥たかだかぶねになるぐらいのことでしょう。疲れているのについてマージャンの誘いに応じてしまったとしても、翌日疲労が甚だしくて調子が出ないというぐらいのことかもしれません。もとよりこれらの場合でも体を壊してしまうというような重大な結果がでてこないとは限りませんが、まあ⑦そういうことは稀であるといえましょう。

しかし人生にはもっと重大な場合があります。もっと重大な問題にぶつかって、それに対処するために考え、何らかの判断を下さなければならないことがあります。このような場合に、もし正しく考えることができなかったとすれば、われわれはまったく誤った行動をし、重大な結果を引き起こすことになるでしょう。ある場合には身の破滅をもたらすかもしれません。ある場合には社会に多くの毒害を流すようなことになるかもしれません。このような結果に陥らないためには、われわれふだんから「正しく考える」ことに習熟していなければなりません。

【問 1】① _____ の意味を表さないものはどれか。

- 1 四六時中
- 2 寝ても覚めても
- 3 日中
- 4 絶えず

【問 2】(②) にはどんなことが入ると思うか。

- 1 とてもよく晴れていれば
- 2 曇り空ならば
- 3 雨が降っていれば

南京农业大学
2008 年攻读硕士学位研究生入学考试试题

4 雨がやんだら

【問 3】(③) にはどんなことばが入ると思う。

- 1 考える場所もなく行われるでしょう。
- 2 考える人もなく行われるでしょう。
- 3 考える暇もなく行われるでしょう。
- 4 考える気もなく行われるでしょう。

【問 4】④ _____ をほかのことばで言い換えるとどうなるか。

- 1 生活しているからには
- 2 生活していくために
- 3 生活したいものだから
- 4 生活していく限り

【問 5】⑤ _____ と同じ意味のことばどれか

- 1 立派なものではない
- 2 恥ずかしがる必要はない
- 3 さほどのことはない
- 4 自慢するにはおよばない

【問 6】⑥ _____ と同じ意味のことばはどれか。

- 1 せいぜい
- 2 たかが
- 3 どうやら
- 4 なんとか

【問 7】そういうこととはどんなことか。

- 1 傘を持たずにでかけて雨に降られ、ずぶぬれになること。
- 2 疲れているのにマージャンの誘いに応じ、翌日疲労が甚だしくて調子が出ないこと。
- 3 誤った判断をしても、大したことにはならないこと。
- 4 雨に降られたり、マージャンの疲れが残ったりして、体を壊してしまうという重大な結果が出ること。

【問 8】本文の内容と合わないものはどれか。

- 1 われわれの日常生活は考えることの連続である。
- 2 われわれはどんな小さなことに出会ったときでも、結局はみずから考え、どう対処していくか、みずからがきめねばならない。
- 3 正しく考えるようふだんから心がけていても、重大な結果を招くことはある。
- 4 重大な問題にぶつかったとき、機敏な行動ができるよう、ふだんから正しく考える訓練をしておいたほうがいい。

文章 (2)

今からもう十年あまりも前になる。南太平洋のドンガでの調査を終えて、東京の我が家に帰ってきて奇妙に思ったことがいくつかあった。

そのうちのひとつは日本人がやたらに忙しがっていることであつた。①駅では人々がさきを争って階段をかけあがり、プラットホームにとまっている電車にとび乗ろうとする。わず

か三分か五分もまてばつぎの電車が来るというのに。

ラジオでは交通情報というのをやっていて、どこどこ何丁目の交差点では②信号何回待ちなどと教えてくれる。さらに③精神安定剤のコマーシャルは「お忙しい毎日、いらいらの連続であなたの心と体はすっかり疲れています。この薬を飲んで眠れば、翌朝のお目覚めはすっきり」などとたいそう親切である。

どれもこれも、南太平洋帰りのわたくしにはびっくりすることばかりであつた。このことをあう人ごとに話すと、「いいですねあ。むこうはのんびりしていて」とやや (④) な返事がかえってくるのが落ちであつた。

来るかこないかわからないトラックにのせてもらおうと、半日でも一日でも道端でしんぼ

南京农业大学
2008 年攻读硕士学位研究生入学考试试题

う強く待つことに慣らされたり、⑤時間がもったいないという観念などない人々の中での暮らしがある程度身にいてしまったわたくしには、なぜ東京の人々はこんなに忙しそうに働いているのか、なぜ精神安定剤の世話になるほどいらいしなければいけないのか、さっぱりわからなかった。

おおげさにいえば、これはわたくしが自分の生まれ育った文化から受けた、⑥はじめての大きな文化的衝撃であった。ちなみに、当時は日本の経済が成長期にむかって突進していた1960年代の勇ましい日本であった。

それから数年、どうした理由からか日本人は（ ⑦ ）という批判が急に高まってきた。週休二日制をとりいれようとする動きと並んで、余暇をいかに過ごすかというような問題があちこちでとりあげられはじめた。⑧ちょうどそのころ、ある雑誌で遊びの特集をする企画があり、わたくしはそこで遊びの分布図を作る作業にたずさわった。またその後、世界各地の余暇を研究する会に加したり、遊びや余暇についての小さな文章を書く機会を通じて、南太平洋から東京に帰ってきたときの経験をおりまぜながら、もうすこし自分なりに⑨整理してみたいと思うようになった。

（青柳まちこ『「あそび」の文化人類学』より）

【問1】①で、なぜ「さきを争って階段をかけあがり」ことになるのですか。

- 1 つぎの電車まで3分か5分も待たなければならないから
- 2 毎日いらいらの連続で心も体もすっかり疲れているため
- 3 何事においても、だれにも負けたくないため
- 4 時間がもったいないという観念が支配的であるため

【問2】②で、だれか「信号を何回も待つ」のですか。

- 1 歩いて交差点を渡ろうとする人
- 2 車を運転している人
- 3 電車に飛び乗ろうとする人
- 4 さきを争って階段をかけ上がる人

【問3】本文にある「③精神安定剤」とはどういうことを指しているのか。

- 1 薬
- 2 コマーシャル
- 3 ラジオ
- 4 交通事情

【問4】（ ④ ）にはどんなことばが入ると思われますか。

- 1 嘲笑な
- 2 軽蔑的な
- 3 好意的な
- 4 同情的な

【問5】「⑤時間がもったいない」のような意味を表すことわざはどれですか。

- 1 果報は寝て待て
- 2 急がば回れ
- 3 時は金なり
- 4 光陰矢のごとし

【問6】⑥で、なぜ「文化的衝撃であった」のですか。

- 1 日本の様子が、自分の想像していたものはあまりにもかけ離れていたため
- 2 帰国した当時が、日本の経済成長期であったため
- 3 忙しそうに働く日本人の姿を見て、これが本来の自分の姿であると気づいたため
- 4 南太平洋のドンガでの生活習慣しか知らなかった自分が恥ずかしくなったため

【問7】（ ⑦ ）の中にはどんなことばが入ると思われますか。

- 1 遊びすぎだ
- 2 休みすぎだ
- 3 余暇を取りすぎだ
- 4 働きすぎだ

【問8】「⑧ちょうどそのころ」とはいつごろですか。

- 1 いまから十年あまり前
- 2 この人が日本へ帰国してから数年後
- 3 日本が経済成長期にむかって突進していたころ

南京农业大学
2008 年攻读硕士学位研究生入学考试试题

4 1960 年代の日本は経済成長をめざして大きく前進を続けていた

【問 9】「⑨整理してみたい」とはあるが、何を整理するのか。

- 1 自分の作業
- 2 自分の経験
- 3 余暇をいかに過ごすか
- 4 なぜ精神安定剤の世話になるか

【問 10】本文の内容と合わないものはどれですか。

- 1 南太平洋での生活と東京の生活とはあまりにもかけ離れており、驚くことばかりであった。
- 2 忙しすぎる日本人は、精神の休養と余暇を求めている。
- 3 東京のような忙しい都市で生活をつづけていると、精神安定剤の世話にならざるをえない。
- 4 1960 年代の日本は経済成長を目指して大きく前進を続けていた。

文章 (3)

「真の芸術には予備校はない。ただ実力の修得があるのみである。だから見習いの弟子にとって、師の仕事の実際を手伝うほど、有益なことはないだろう。絵の具とときの助手から、偉大な画家になった人は少なくない。」このゲーテのことばは、これを読書にあてはめると、いきなり①作品への直入をすすめていると言ってよかろう。その場合、わたしたちのまず経験することは、どのように理解していいか、ただ途方にくれることだけに、自分を訓練する道はないのである。②ここには予備校はない。(第一段)

制作のときも、同じことだ。絵の具ときそのものは、つまらない仕事のように見えるかもしれない。しかし、絵の具のとき方にも、おそらく深い熟練が必要であろう。途方にくれる場合がいくらかもあるに違いない。そういう下積みの仕事を積み重ねていって、しだいに絵をかく技術を身につけていくわけである。③絵の描き方といった本をいくら読んでも、すぐれた画家になれないのは当然のことだ。(第二段)

()、こうした訓練を封建的と呼んだ人がある。各人にはそれぞれの個性があるはずだから、何も師の絵の具ときから始めなくても差し支えあるまい。自分で絵筆をとって、どしどし自由な気持ちで描いたらいいではないか④と言う。子供などにこれをすすめる人も多い。そして、何か変わったものがそこにあらわれると、たちまち独創的だなどと言う。しかし、ゲーテほど、こうした独創性を戒めた人はない。「ほんとうの芸術家になるために、前時代の、すぐれた芸術家たちの仕事から、つとめて自分に欠けたものを学びとろうと欲しない人は、⑤独創性を誤解しているのだ。かれらはいつまでも、ただひとりよりのこされるだろう。生来のものだけでなく、修得したものもまた、わたしの所有である。その両者がわたしである。」と(第三段)

独創性とは、生まれながらの自己からのみあらわれるものではないということだ。実際問題として、そういうことはありえないのだ。必ず、だれかに学ばなければならない。学ぶとは、ここに述べてあるように、「自分に欠けたもの」を学びとろうとすることである。ある場合には、すべてが欠けていると思うこともあろうが、実は、⑥その絶望から、わたしたちは『新しい生』を生み出すのである。純粹に独創的であろうとすることは、単なる妄想にすぎない。(第四段)

すべてが欠けていると思ったときは、自分の尊敬する師や感動した作品を模倣することである。模倣とは、その外見を「猿まね」することではない。その作品にそそがれた並々ならぬ努力の時間、そこに払われた苦悩を模倣することである。このように考えたら、模倣そのもののさえ、いかにむずかしいが理解しうるだろう。(第五段)

もし模倣がこのようにして積み重ねられたら、そのとき必ず、そこに模倣者の独創性があらわれるはずだ。つまり、模倣者自身の努力と苦悩があらわれるということである。人間はこうして独創性をうるのである。(第六段)

一風変わったことばかりねらう冒険者こそ、芸術にとっても、他のすべての仕事にとって

南京农业大学
2008 年攻读硕士学位研究生入学考试试题

も、いちばん危険である。しかも、現代は、一風変わったものばかりを扇動しているように見える。これは、マスコミの流すいちばん大きな害毒ではなからうか。(第七段)

【問 1】①「作品への直入」とは、どういうことか。10 字以内で答えなさい。

【問 2】②「ここには予備校はない」とは、どういうことか。次から一つ選んで、記号で答えなさい。

- 1 どのように作品を理解したらよいかを教えてくれる人はいない。
- 2 直接作品を読み、作品の本体にふれる以外によい方法はない。
- 3 作品の本質を解説し、予備知識を与えてくれるような文章はない。
- 4 読書は、個人でするものであって、集団でするものではない。
- 5 同じ本を何回も読み返すというのは、真の読書法ではない。

【問 3】③「絵の描き方といった本をいくら読んでも、すぐれた画家になれないのは当然のことだ。」とあるが、どうしてそういえるのか。文章中のことばをできるだけ生かして、30 字以内で書きなさい。

【問 4】() にあてはまる連続詞を書きなさい。

【問 5】④「と」は、どの部分を受けて使われているか。受けている部分の初めの 4 字を書きなさい。

【問 6】⑤「独創性を誤解している」とあるが、誤解している人は、独創性とはどういうものと考えているか。文章中のことばを生かして、20 字以内で書きなさい。

【問 7】⑥「その絶望から、わたしたちは『新しい生』を生み出すのである」を説明したものとして正しいものを、次から選び、記号で答えなさい。

- 1 絵の制作でも読書でも、先人の絵や書物に学ぶ態度が必要で、すなおに学ぶ人だけが「新しい生」を生み出す。
- 2 生来のものに絶望したとき、真の独創とは何かがわかり、そこから新しい生き方を学ぼうとする意欲がわく。
- 3 自分にはすべてが欠けていると、自分に絶望したとき、今まで気づかなかった生き方を自分で生み出せる。
- 4 自分の才能のなさを自覚して慎重に学ぼうとする人こそ、新しい自分の生活を純粋なものに築き上げられる。

【問 8】この文章を読むと、独創性とは何かについて、もっとも強く筆者の考えを述べた段落があるが、それはどの段落か。二つ選んで、段落の数字で答えなさい。

【問 9】この文章には、論旨の展開上、省いてもよい段落があるが、それはどの段落か。段落の数字で答えなさい。

第二部分 作文 (45 点)

▲『日本人と日本語』

▲ 字数：1000 字ぐらい